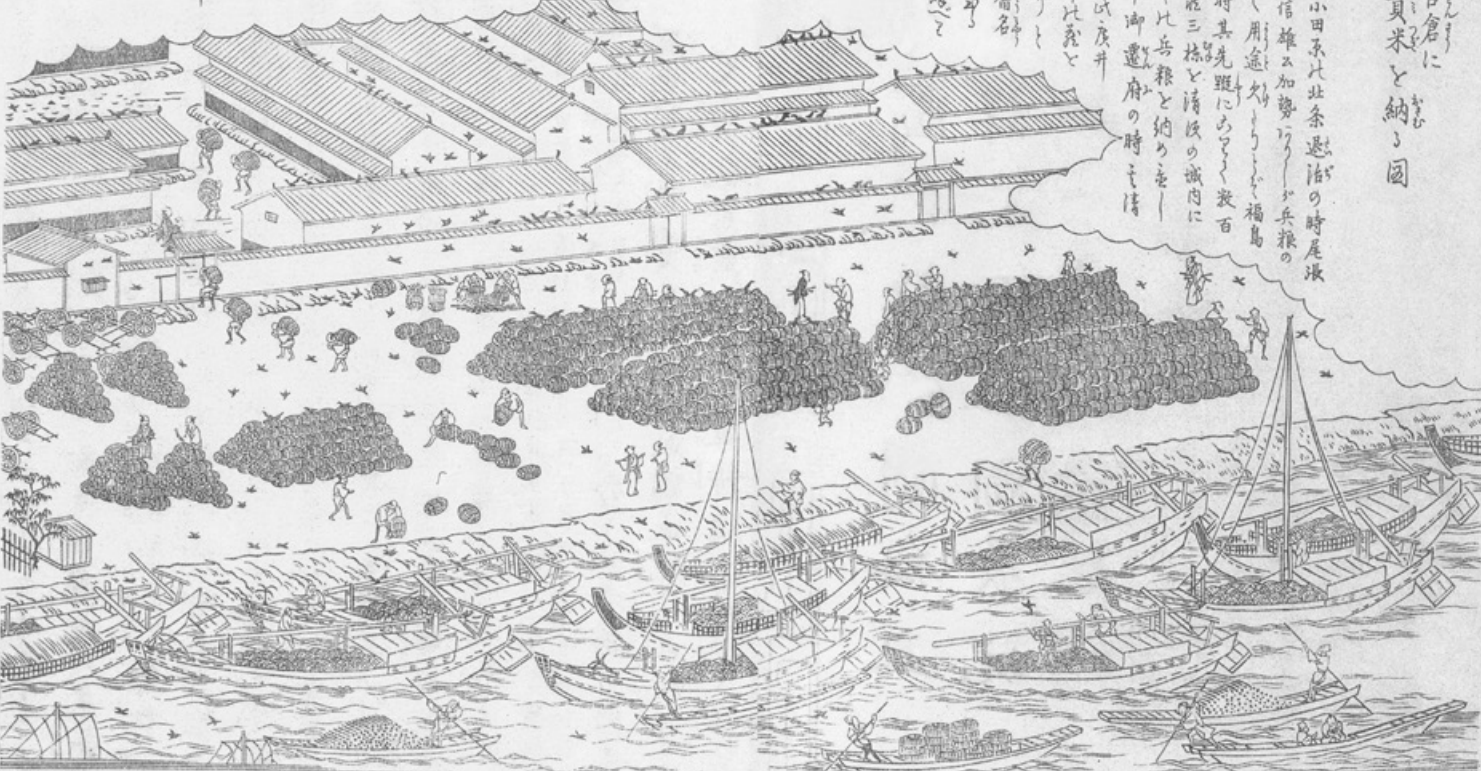


廣井官倉に
貢米と納る國

太閤秀吉公小田原北条退治の時尾張の國之儀田信雄公加勢に兵糧の貯へりて用途大に用ひしに福島正則公の時其先蹤にあつて數百間大の倉三楹と清波の城内に作りて多く此兵糧と納りて一又十五年御遷府の時之清波の二倉と比度井より多く此兵糧と作りて之に納りしに其倉名を三ツ花と名づけり

とこのころ
尾張に
池と
大免
氷の
あか
いひの
くちま
けし
な
輔相



第144期

中間報告書

2022年4月1日～2022年9月30日

 東陽倉庫株式会社
TOYO LOGISTICS CO., LTD.

証券コード：9306

「もの」づくり、人の「暮らし」を支える 東陽倉庫



代表取締役社長
武藤 正春

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。ここに、東陽倉庫株式会社の第144期中間報告書をお届けいたします。

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期化する中、ワクチン接種の拡大や医療供給体制の強化を受けて行動制限が緩和されたことにともない、個人消費や設備投資に持ち直しの動きがみられました。一方、ロシア・ウクライナ情勢を受けた資源・エネルギー価格の高騰、日米の金利差を要因とした円安による物価の急激な上昇、および、原材料・部品の供給制約が生産活動の重しとなる状況が続きました。海外経済は、米国を中心に緩やかに持ち直しましたが、各国で高いインフレ圧力を背景に金融の引き締めが進む中、景気の減速が懸念されるなど先行きに対する不透明感が一層強まりました。

このような事業環境の中、当社グループは、①運送体制と流通拠点の強化による3PL物流の推進、②海外拠点の拡充を含めたグローバルな業務の強化、③不動産賃貸料等の安定収入の拡大、を進めてまいりました。セグメントの業績、および、連結の業績は、次のとおりです。

【物流事業】

倉庫事業は、保管残高が期中を通じて高水準で推移しましたが、貨物の取扱いおよび流通加工は低調に推移しました。また、配送センター事業は前年並みに推移しました。

港湾運送事業は、船内荷役および輸出貨物の取扱いは低調に推移しました。一方、国際輸送事業は、顧客ニーズに応じたきめ細かい営業展開により堅調に推移しました。

この結果、営業収益は138億3百万円（前年同期比0.5%増）、セグメント利益は8億8千3百万円（同17.3%減）となりました。

【不動産事業】

不動産事業は、請負工事が増加し増収となりましたが、管理費用が増加したこと等により、営業収益は3億1千7百万円（同10.5%増）、セグメント利益は1億2千6百万円（同4.3%減）となりました。

これらの結果、当期間における当社グループの連結営業収益は141億1千9百万円（同0.7%増）、連結経常利益は9億4千6百万円（同10.5%減）となりました。特別損益等を加減しました結果、親会社株主に帰属

する四半期純利益は6億8千9百万円（同6.4%減）となりました。

当期の通期連結業績予想について、連結経常利益は14億円から16億5千万円に、親会社株主に帰属する当期純利益は10億円から11億5千万円に、本年5月11日公表の予想からそれぞれ上方修正しました。また、当期の年間配当金の予想についても、同公

表予想から50銭引き上げて、1株当たり10円（中間配当5円）としました。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ引き続き格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年12月

連結財務ハイライト

■ 通期 ■ 中間



(注) 1. 1株当たり当期純利益は、期中の平均発行済株式総数により算出しております。なお、期中の平均発行済株式総数は、自己株式数を控除した株式数を用いております。

2. 「収益認識に関する会計基準」等を第143期の期首から適用しております。

会社概要

商号：東陽倉庫株式会社 (TOYO LOGISTICS CO.,LTD.)

所在地：名古屋市中村区名駅南二丁目6番17号

創業：1893年 (明治26年) 10月1日

設立：1926年 (大正15年) 3月13日

資本金：3,412百万円

事業：物流事業・不動産事業

グループ会社

国内	東陽物流株式会社
海外	TOYO LOGISTICS AMERICA,INC.(米国)
	東誉 (上海) 国際貨運代理有限公司 (中国)
	TOYO LOGISTICS(S) PTE.LTD.(シンガポール)
	TOYO LOGISTICS (THAILAND) CO.,LTD. (タイ)
	TOYO SOKO (THAILAND) CO.,LTD. (タイ)

株式の状況

発行済株式の総数：39,324,953株
(自己株式1,485,001株を含む)

株主数：5,790名

株主メモ

事業年度：4月1日から翌年3月31日まで

剰余金の配当の基準日：期末配当 3月31日
中間配当 9月30日

定時株主総会：6月下旬

単元株式数：100株

公告の方法：当社ホームページ
(<http://www.toyo-logistics.co.jp/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由
によって電子公告による公告をすることが
できない場合には、日本経済新聞
に掲載いたします。

取締役・監査役

代表取締役会長：白石好孝

代表取締役社長：武藤正春

取締役：渡邊誠

取締役：黒田城児

社外取締役：市橋弘一郎

社外取締役：水谷康二

常勤監査役：森真悟

社外監査役：近藤克麿

社外監査役：入谷正章

執行役員

常務執行役員：伊木善秀

常務執行役員：青山章

常務執行役員：渡邊誠

常務執行役員：山本昭人

執行役員：日高公司

執行役員：小川正司

執行役員：長谷川裕之

株主名簿管理人：三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先：〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)

特別口座管理機関：〒168-0063
東京都杉並区和泉2丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)

上場市場：東京証券取引所 (スタンダード市場)
名古屋証券取引所 (プレミアム市場)